

(様式第7号)

地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和 4年 6月 25日

作成者： 藤井 健三

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	
日本スリランカ友の会関西	
事業名	日時(期間)、場所
不要メガネをリフレージ(クリーニング、度数管理補修)してスリランカに寄贈する事業	通年、リフレージ場所:大阪市西区「R-GLASS」
内容(実績) *実施したことを具体的に	受益者数
各家庭で不要になった眼鏡を提供していただき、リフレージしたのを、貧しくてメガネを買えないスリランカの農山村部の人々に提供する活動を紹介したところ、不要メガネなどの様々な形で役に立つことを知った人々の共感を得て、イベント開催時のほか、直接当会事務局宛送付いただく形で提供を受けています。それを当会会員のR-GLASSでリフレージし、渡航者の協力を得てスリランカのパートナーの元へハブが取り、希望者に届けています。	(9) 人 (会員を含め24人)
	参加者数
	(15) 人
成果(社会へのインパクト) *どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
スリランカは仏教の教えもとがら、日本に対し角膜炎を顕著にくわゆる最大のドナー国です。また、70年程のシンガポール講和会議において、全権代表の名演説により、日本に対し分割統治や多額の賠償請求に反対し、日本独立国として国際社会に復帰させる大きな原動力となった思人です。これらに報いる恩返し活動であることも理解し評価して下さる方が増えています。	
今後の展望(どのように継続、発展するか)	
1. リフレージメガネを多く提供いただくとともに、いかに多くのルートでスリランカへハブが取り寄るかを模索中です。 2. スリランカ保健省から関税免除の措置を受けよう検討しています。	